

# お仕事

# 訪問

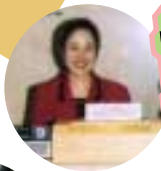
者レポート1

将来就きたい仕事がある人も、まだぜんぜん考えてない人も、ちゃんと知りたお仕事の中心、読者スタッフがお仕事体験し、てきました。

## ホテル

### 松江東急イン

多くの人が利用するホテル。一人ひとりのお客様のために、いろいろな仕事があるようです。Specialくん(益田明誠)の体験レポートです。



### フロントはホテルの顔

そして「松江東急インの佐々木さんから、ホテルの概要や僕が経験させてもらえることなど、いろいろな話をしてもらいました。まず思ったのは、東急グループというのはとても大きな企業だということと、その中の一つが松江にあるということに驚きました。そしてホテルマンの仕事について、話を聞くうちにその全部の仕事をやってみたいという気になってきました。特に僕がやってみたかったのが、フロントの仕事でした。だ、けど、フロントというのはホテルの顔と言われていて、絶対に失敗は許されない重要な仕事で、すぐに素人であるようなものではないから無理だと言われました。



### ユニフォームを着て体験!

それから体験実習生として、このホテルのユニフォームを着ることになりました。ユニフォームはシンプルで着やすかったです。それに、ユニフォームを着た自分はいつもの自分と変わっていませんでした。だ、けど、ムスをつけたら初めて髪をセーブした僕はいつもの僕と違いました。(工大へ)

今回の実習で一番楽しかったのは、宴会場の手伝いでやりがいがありました。トレンチを持って食器を下げる仕事でしたが、トレンチをずっと固定してはいないといけないので、左手が痛くなりました。そうそう、お盆のことをトレンチと呼ぶこともこのとき初めて知りました。



### まずはチェックイン

僕は、人と話したり、人のために何かするのが大好きで、人と接する機会の多いホテルマンの仕事を詳しく知りたと思いました。今回いろいろな経験をさせてもらったのが、JR松江駅前にある「松江東急イン」でした。ホテルの正面玄関を入った瞬間、きれいなところだなあと思いました。フロントでチェックインをしました。が、去年、一人旅を経験していたため、あまり緊張することもなく、お客さんの立場より、フロントの仕事をしている人のことが気になりました。



### レストランで

夕食はレストランでフルコースでした。生まれて初めてナイフやフォークがたくさん並んでいるフルコースの料理で緊張したけど、とてもおいしかったです。

翌朝はレストランで朝食の手伝いをさせてもらいました。前の夜に宴会場の経験をしていたので、ワウクしながらやりました。失敗もまったくありませんでした。しかも、皆さんに向いていると言われて嬉しかったです。



料理長と並んでパチリ、ユニフォームの似合うSpecialくん。



### ひとりのお客さんのために

今回全体的に思ったのは、「ホテル」というのは、人目に触れてないところで、たくさんの人たちが働いているんだということ、そしてひとりのお客さんのために何十人も人が働いているということがわかりました。ホテルマンは結構自分に向いてるだろうと思っていましたが、一度やり始めたことは途中で投げ出さず最後までやり遂げることが大切だとわかり、多分僕は途中で飽きてしまうかもしれないとも思いました。

実際にこんな大きなホテルで体験できて、とても感謝しています。今回お世話になった方々へつてもありがとございます。



初めてのフルコース。ちよっぴキドキ。



ベッドメイクは...  
その後はベッドメイクの仕事を経験させてもらいましたが、シーツをはずしたり、ついたり面倒くさいことをしているんだなあということがわかりました。正直言ったら、この仕事はあまりしたくないなと思っていました。



今回お世話になった佐々木さん。いろいろ教えていただきました。

今回の取材先 ありがとうございます!

松江東急イン( <http://www.matsue.tokyuinn.co.jp/> )  
松江市朝日町590 ☎0852-27-0109  
昭和58年開業、客室数181(定員281名)の都市型ホテル。  
レストラン、宴会場も備えています。